

■HTTP サーバのインストール

Windows 版 - Apache(2.2.17) ダウンロード手順

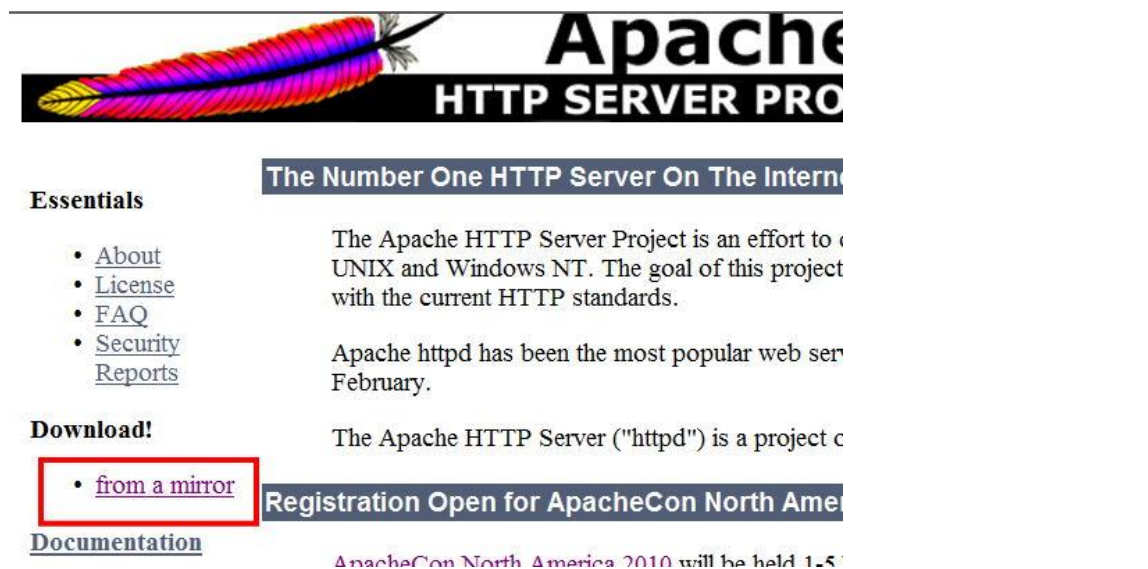
ここでは、Windows 版 Apache のダウンロード手順を説明します。

(1)ダウンロードサイトにアクセス

以下の URL で Apache 配布されています。

<http://httpd.apache.org/>

サイトにアクセスすると以下の画面が表示されますので、右のメニューの「Download!」→「from a mirror」をクリックします。



Apache HTTP SERVER PROJECT

The Number One HTTP Server On The Internet

Essentials

- [About](#)
- [License](#)
- [FAQ](#)
- [Security Reports](#)

Download!

- [from a mirror](#)

Documentation

The Apache HTTP Server Project is an effort to develop a secure, efficient, and extensible UNIX and Windows NT. The goal of this project is to provide a high performance web server with the current HTTP standards.

Apache httpd has been the most popular web server for over a decade. In February, it was the most popular web server in the world.

The Apache HTTP Server ("httpd") is a project of the Apache Software Foundation.

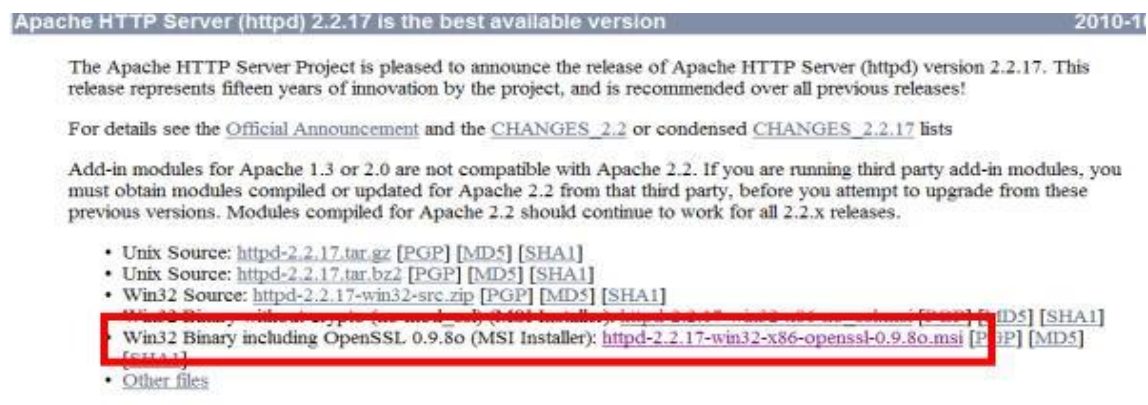
Registration Open for ApacheCon North America

ApacheCon North America 2010 will be held 1-5

(2)ダウンロードファイル指定

少しスクロールすると、Windows 用と、Linux 版のインストールファイルが表示されます。

今回は Windows なので、「httpd-2.2.17-win32-x86-openssl-0.9.8o.msi」をクリックしてください。



Apache HTTP Server (httpd) 2.2.17 is the best available version 2010-11-01

The Apache HTTP Server Project is pleased to announce the release of Apache HTTP Server (httpd) version 2.2.17. This release represents fifteen years of innovation by the project, and is recommended over all previous releases!

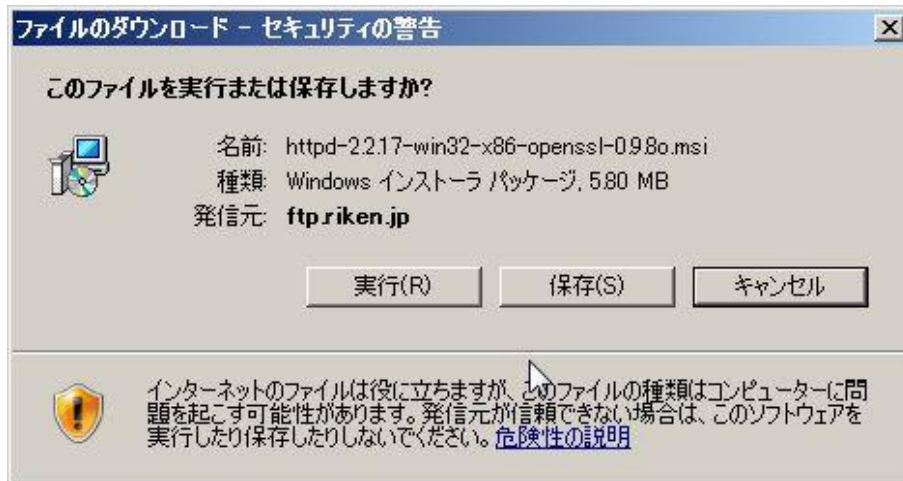
For details see the [Official Announcement](#) and the [CHANGES 2.2](#) or condensed [CHANGES 2.2.17](#) lists

Add-in modules for Apache 1.3 or 2.0 are not compatible with Apache 2.2. If you are running third party add-in modules, you must obtain modules compiled or updated for Apache 2.2 from that third party, before you attempt to upgrade from these previous versions. Modules compiled for Apache 2.2 should continue to work for all 2.2.x releases.

- Unix Source: [httpd-2.2.17.tar.gz](#) [PGP] [MD5] [SHA1]
- Unix Source: [httpd-2.2.17.tar.bz2](#) [PGP] [MD5] [SHA1]
- Win32 Source: [httpd-2.2.17-win32-src.zip](#) [PGP] [MD5] [SHA1]
- Win32 Binary including OpenSSL 0.9.8o (MSI Installer): [httpd-2.2.17-win32-x86-openssl-0.9.8o.msi](#) [PGP] [MD5] [SHA1]
- Other files

(3)ダウンロードファイル保存

以下のファイルダウンロード画面が表示されるので、任意の場所に保存しましょう。



Windows 版 - Apache(2.2.17) インストール手順

ここでは、Windows 版 Apache のインストール手順を説明します。

(更新日 2010/10/30 時点での情報です。)

ファイルのダウンロード方法については、「[Windows apache ダウンロード手順](#)」に掲載しています。

ファイルを手に入れない方は、参考にしてください。

(1)ファイルを実行する

ダウンロードした「httpd-2.2.17-win32-x86-openssl-0.9.8o.msi」ファイルを実行すると以下の画面が表示されます。

「Next>」のボタンをクリックしてください。



(2)ライセンス規約

ライセンス規約の確認です。よく読んで頂き同意できる場合には「I accept the terms in the license agreement」をチェックして下さい。その後で「Next>」ボタンをクリックして下さい。



(3)説明文

Apache についての説明文が表示されます。
よく読んで「Next>」ボタンをクリックしてください。



(4)環境設定

以下の設定画面が表示されます。ローカルで使用する場合の例で記載します。

■ **Network Domain**: localhost

※インターネットに公開する場合、ドメイン名を入力してください。

(例:aaaa.bbbb)

■ **ServerName**: localhost

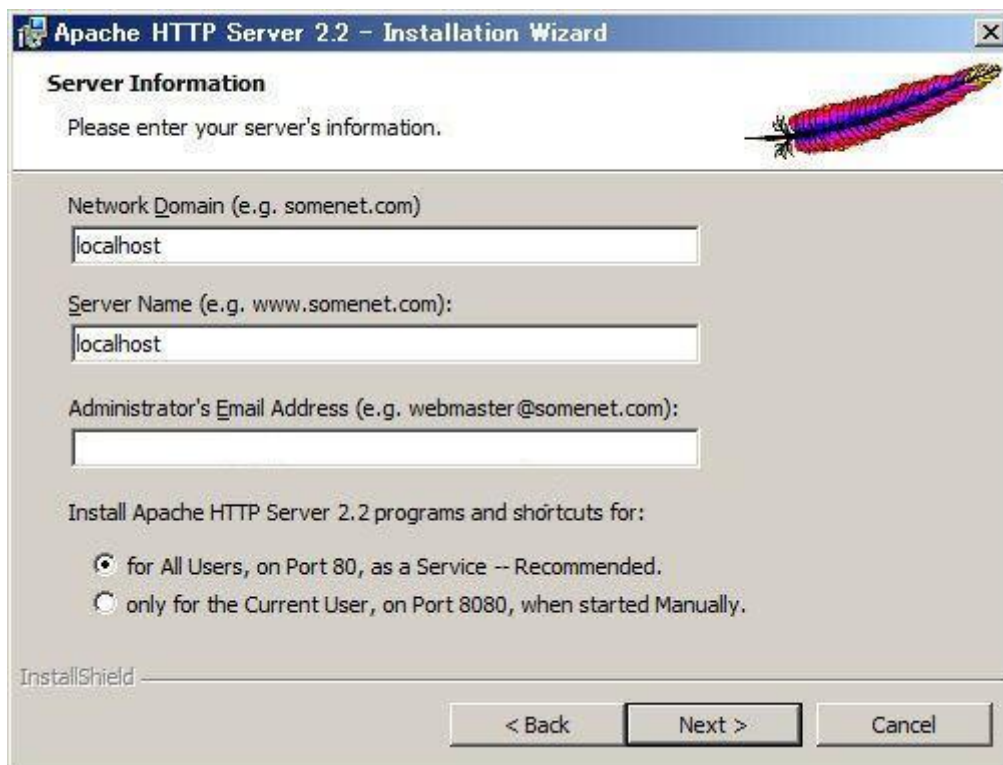
※インターネットに公開する場合、web サーバ名を入力してください。

(例:www.aaaa.bbbb)

■ **Email**: 管理者のメールアドレス

■ **ポート設定**:「for All Users, on Port80, as a Service」を選択

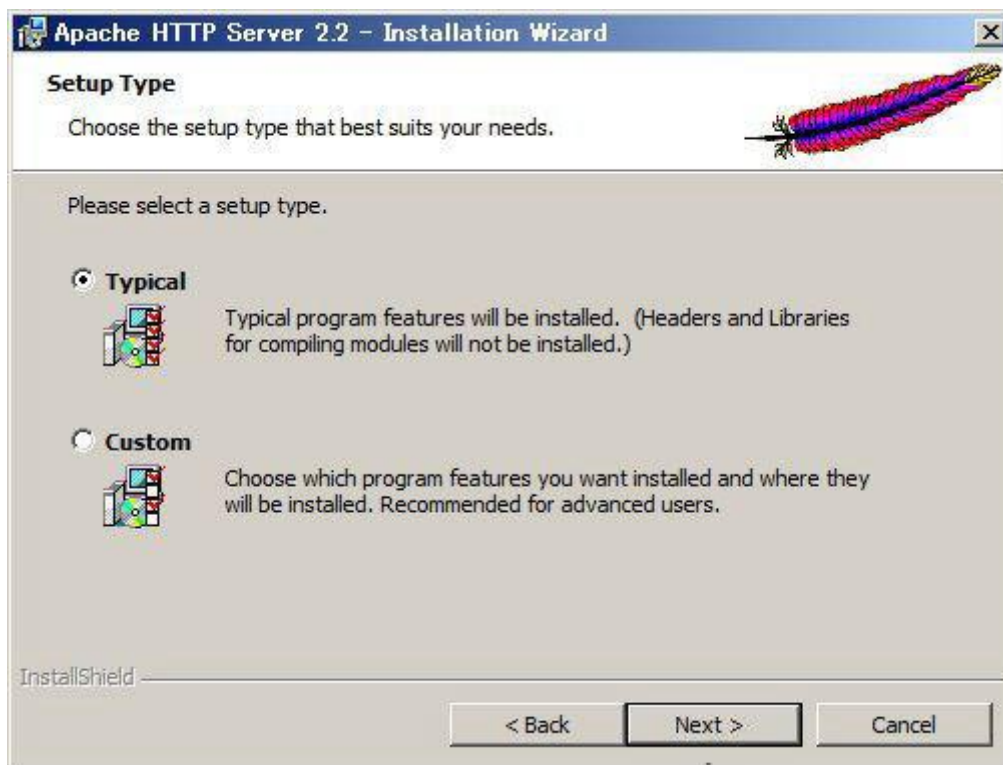
入力が終わったら、「Next>」ボタンをクリックしてください。



(5)インストールタイプ選択

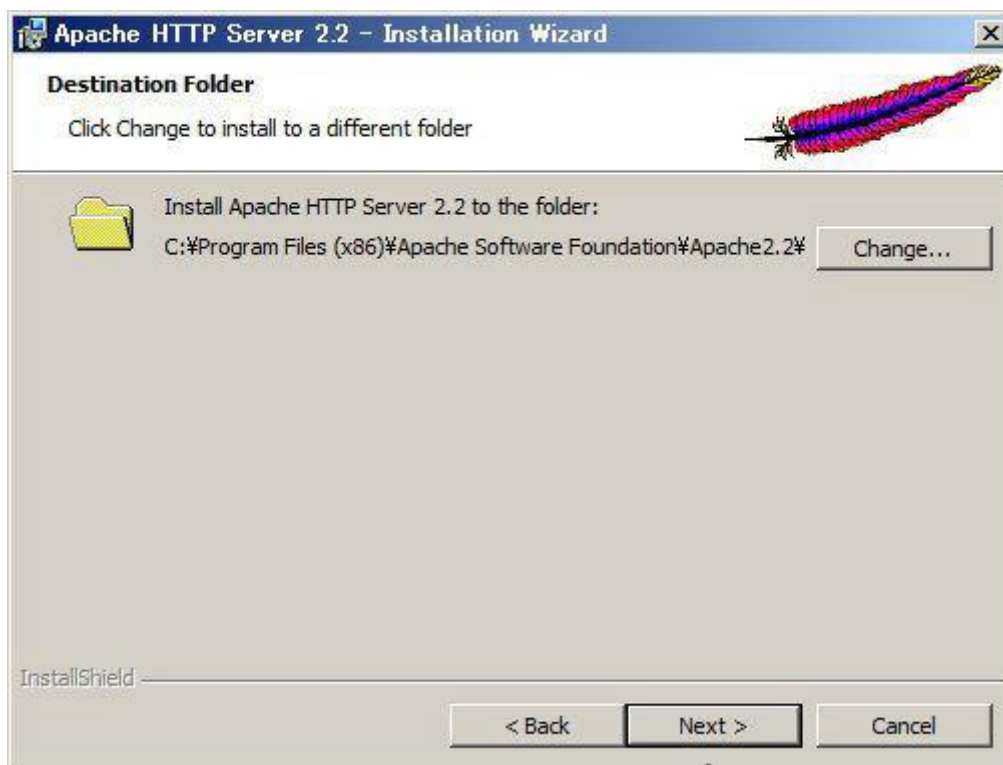
今回は、標準のインストールの「typical」を選択しています。

細かく設定を行いたい場合は、「Custom」を選択してください。



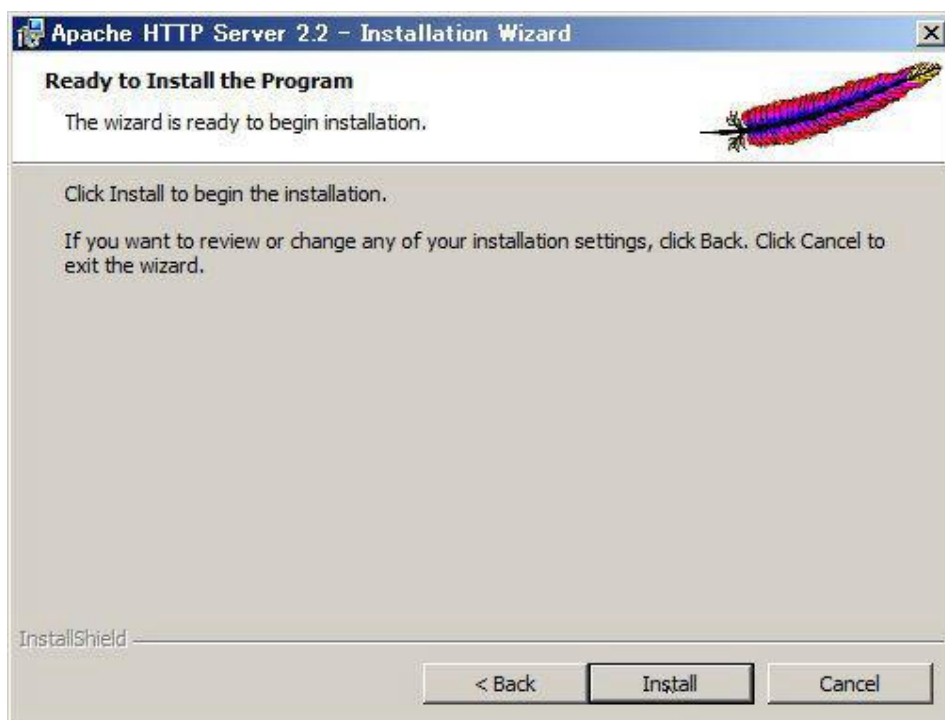
(6) インストールフォルダの指定

デフォルトのインストール先で問題ない場合は、「Next>」ボタンをクリックしてください。



(7)インストール開始認

インストールの開始画面が表示されるので、「Install」ボタンをクリックしてください。



(8)インストール完了

以下の画面が表示されれば、インストール完了です。

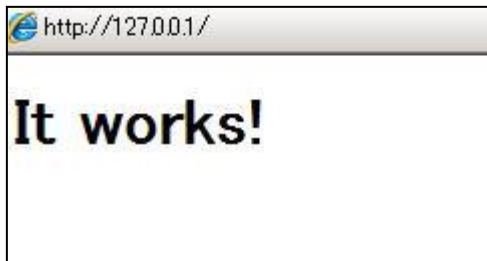
「Finish」ボタンをクリックしてください。



(9)最終確認

ブラウザで、「http://127.0.0.1」を開いてみてください。

Apache のデフォルトのページが表示されれば問題なく動作しています。



ごく簡単な HTML 文書の作成例

HTML の書き方がある程度分かったら、HTML 文書を作成してみましょう。以下のサンプルは、ごく簡単な HTML 文書の例ですが、この内容をテキストエディタなどでコピー＆ペーストして拡張子を「.html」にして保存すれば HTML 文書となります。また、作成した HTML ファイルをウェブサーバーにアップロードすれば、ウェブページとして公開することができます。

ファイル名: mypage.html

ファイルの保存先: C:\Program Files\Apache Software Foundation\Apache2.2\htdocs

※ブラウザからアクセス <http://サーバ名/mypage.html>

```
<html>

<head>
<title>ウェブページのタイトル</title>
</head>

<body>
<h1><FONT color="red">ウェブページの見出し</FONT></h1>
<p>文章の段落</p>
<p>文章の段落</p>
</body>

</html>
```


■ファイルサーバー TinyFTPD インストール

WWW サーバと並んでよく利用されているのが FTP サーバです。

FTP というのは、インターネット上でファイルを送受信する“しくみ”です。ファイルを保存しておく側に、FTP サーバソフトを入れて（daemon：デーモンともいいます）、利用者は FTP クライアントと呼ばれるソフトを使ってサーバに接続してファイルを送受信します。

Web やメールでもファイルを扱うことは可能です。しかし、ファイル送受信に目的を絞った FTP なら、大きなファイルでもまとめて送受信ができ、なおかつアクセス権限の管理もしやすいつくりになっています。

●TinyFTPD のダウンロード

以下のサイトから TinyFTPD の最新版を入手します。

http://hp.vector.co.jp/authors/VA002682/tftpd_frame.htm

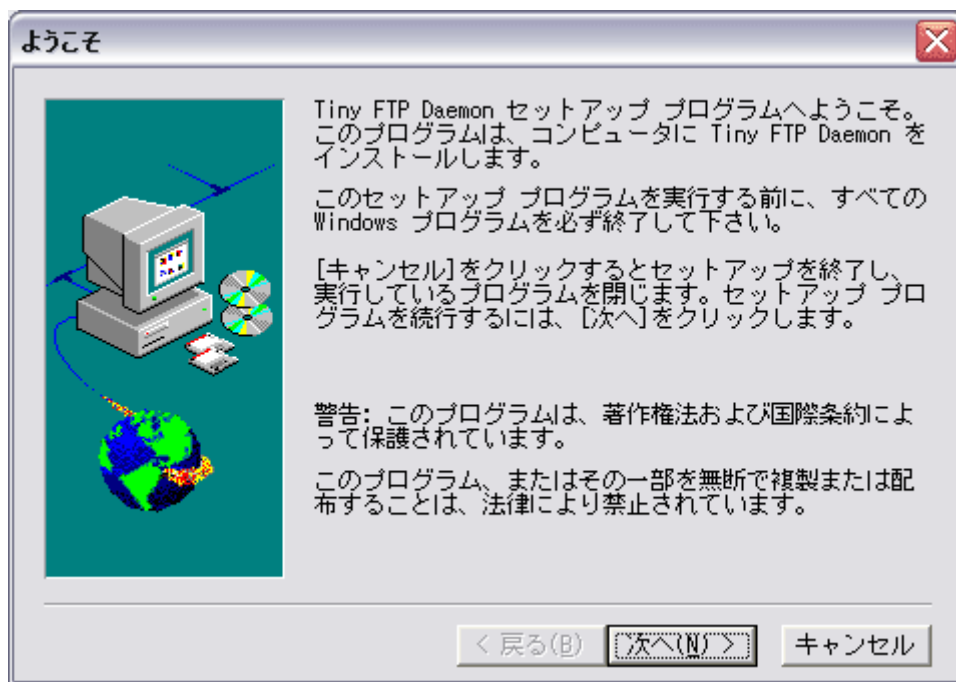
●TinyFTPD のインストール

ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。  ftpd52d.exe



インストール作業用の一時フォルダを指定します。このまま[OK]を押してください。

インストーラーが立ちあがりますので、指示に従って進めます。



<ようこそ>の画面が表示されたら、内容をよく読み、[次へ]をクリック。

<ライセンス>の画面が表示されたら、内容をよく読み、[はい]をクリック。

<README 情報>の画面が表示されたら、内容をよく読み、[次へ]をクリック。

<インストール先>の画面が表示されたら、内容をよく読み、[次へ]をクリック。

<セットアップ方法>の画面が表示されたら、「標準」を選択し、[次へ]をクリック。



<フォルダの選択>の画面が表示されたら、そのまま[次へ]をクリック。

インストールが開始されます。

<セットアップの完了>の画面が表示されたら、
「README ファイルを表示します」にチェックを入れて、[終了]をクリックします。

TinyFTPd セットアップ

インストールがすんだら、サーバの設定を行ないます。

TinyFTPd の設定はすべてメニューで行なえるので簡単です。しかし、適切に設定を行なわないと、外部からコンピューターの中身が丸見えになったり、最悪データを破壊されたりします。必ず付属のヘルプファイルを読み、十分なテストを行なってから運用を開始してください。

※ Windows 95 / 98 / Me / NT / 2000 / XP 共通です。

画面は Windows XP で解説しています。

TinyFTPD の基本設定

TinyFTPD は、初期設定のままでも充分ですが、安全のために以下の設定を行なってください。

まずは TinyFTPD を起動します。

[スタート]→[すべてのプログラム (P)]→[TinyFTPDaemon]→[FTPd の起動]で起ち上げるか、以下のアイコンをダブルクリックします。




このような画面が表示されます。

(これは運用中のものです、最初は待っていても誰もログインしてきません。)



メニューバーの[設定]を開き[システム設定]をクリックします。

(または、メニューバーの下にある  ボタンを押します。)

システム設定ウインドウが開きます。

まず、右側の[簡単な設定]のチェックを外します。

＜全般＞タブの最大ユーザー数で、同時に接続できる人数を設定します。
自分しか使わないなら、1とします。
あまり人数が多いと、不正利用(多重ログイン)の危険が高くなります。
それ以前に回線がパンクするかもしれません。

＜ログファイル＞タブのログファイル内、[ファイルに保存]をチェックします。
すべての動作を記録します。必ずチェックしてください。

＜ログイン＞タブの[自動的に使用不可にする]をチェックし、
パスワード間違いの許容回数を指定します。
ディクショナリーアタック(総当たり入力)からの危険が減ります。

[OK]をクリックし、TinyFTPD を再起動します。

TinyFTPD ユーザー設定

セットアップがすんだら、ユーザーの設定を行ないます。
これをしないと、誰も FTP サーバにアクセスできません。

TinyFTPD の設定はすべてメニューで行なえるので簡単です。しかし、適切に設定を行なわないと、外部からコンピューターの中身が丸見えになったり、最悪データを破壊されたりします。実際に運用する場合は必ず付属のヘルプファイルを読み、十分なテストを行なってから運用を開始してください。

※ Windows 95 / 98 / Me / NT / 2000 / XP 共通です。
画面は Windows XP で解説しています。

TinyFTPD のユーザー設定

まずは TinyFTPD を起動します。
[スタート]→[すべてのプログラム (P)]→[TinyFTPDaemon]→[FTPd の起動]で起ち上げるか、
以下のアイコンをダブルクリックします。




このような画面が表示されます。

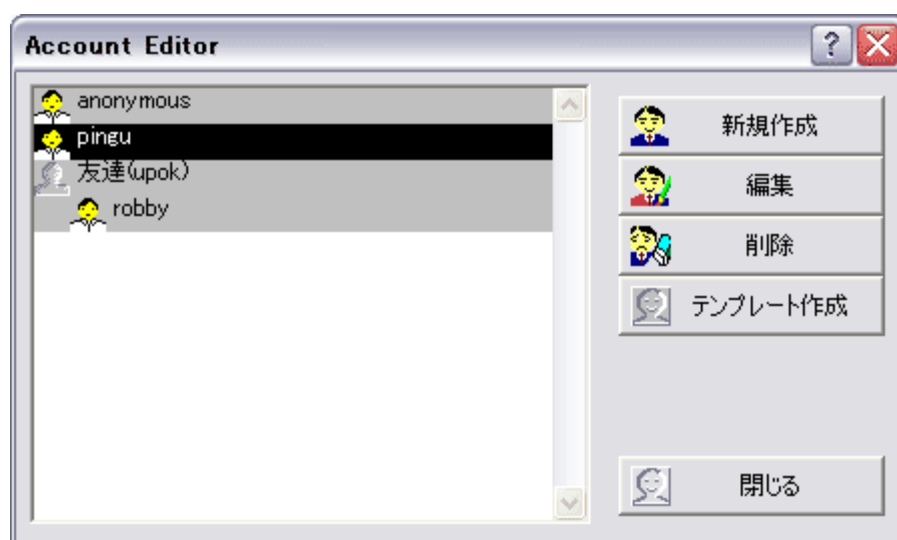
(これは運用中のものです、最初は待っていても誰もログインしてきません。)



メニューバーの[設定]を開き[ユーザー設定]をクリックします。

(または、メニューバーの下にある  ボタンを押します。)

<Account Editor> ウィンドウが開きます。



まず、右側の[新規作成]ボタンを押します。

＜ユーザー編集＞ウインドウが開きます。

作成するアカウント情報(ユーザー名とパスワード)を入力します。

「☐ 有効」と「☒ パスワードを使用」には、必ずチェックを入れます。

「ホームディレクトリ」を指定します。このユーザーにアクセスさせるフォルダです。

必ず専用のフォルダ(ディレクトリ)を作り、その中だけアクセスできるようにします。

ここではCドライブ直下に「ftpd」というフォルダを作り、その中を割り当てています。

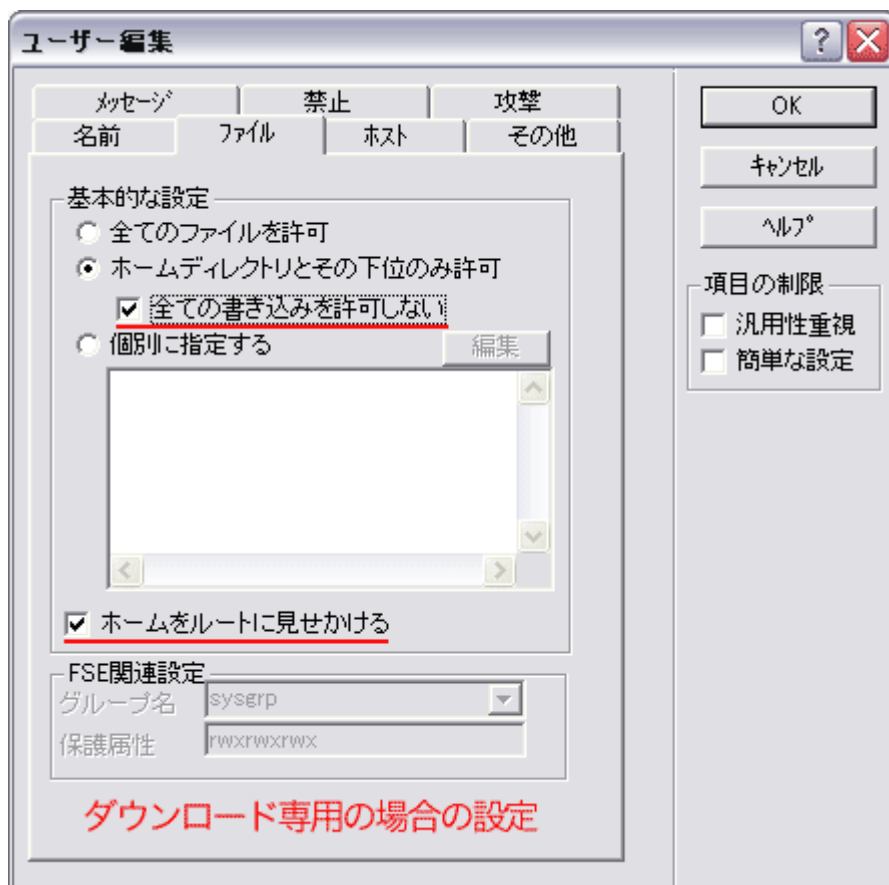
同時に、sample.txt というファイルを、c:\ftpd のフォルダに保存してください。

仮にここでCドライブ全体を指定すると、万が一パスワードが漏れた時に

システムファイルを消されたりウイルスを送り込まれたりするかもしれません。

次に、**[ファイル]タブ**を開きます。

「ホームをルートに見せかける」にチェックを入れます。



アクセスの対象は、「○ ホームディレクトリとその下位のみ許可」とします。

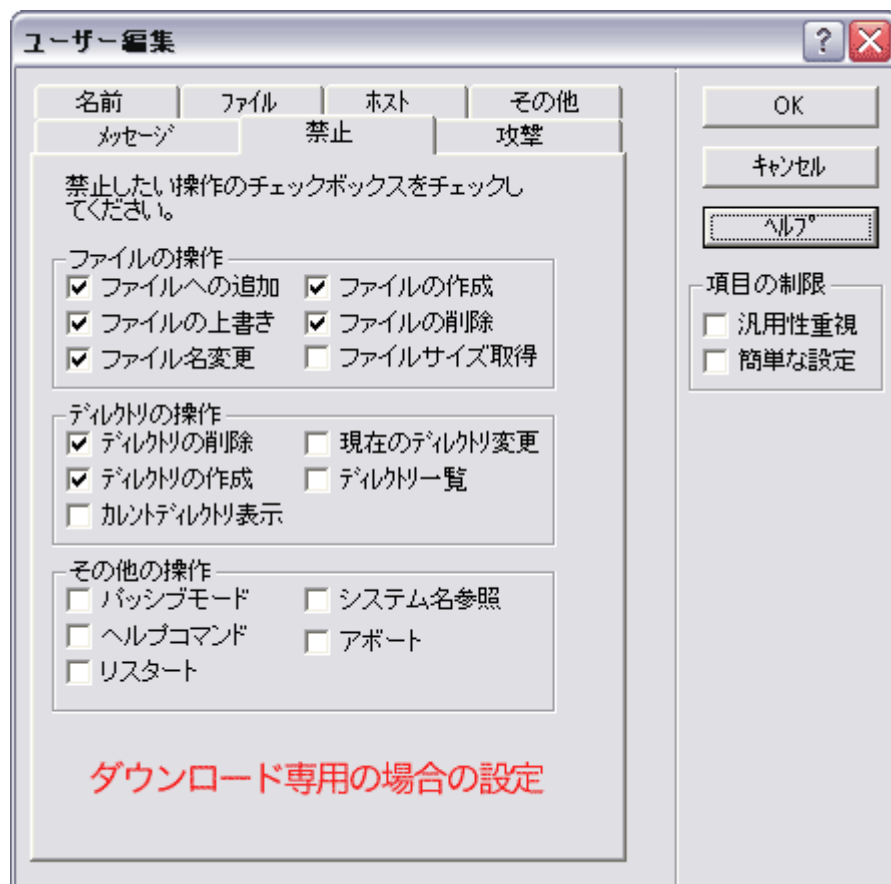
ここで「☐ 全ての書き込みを許可しない」にチェックを入れれば、

そのユーザーは“ダウンロード専用”となります。

「個別に指定する」を選んでフォルダごとに細かく設定を行なうこともできます。

さらに**[禁止]タブ**を開きます。操作の種類ごとに禁止の指定が行なえます。

この例では、作成/変更/削除 を禁止して、ダウンロード専用にしています。



その他の設定は、必要に応じてヘルプを参照しながら行なってください。

[OK]をクリックすれば、ユーザーが登録されます。

利用するのが自分以外なら、アカウント情報をユーザーに教える前に、実際にローカル環境でログインしてみて、制限が適切かテストを行なってください。

これでユーザー登録は完了です。

FFFTP クライアントソフトのインストールと設定方法

FTP は、FTP : File Transfer Protocol の名の通り、ファイル転送に特化したプロトコルの一種です。

FTP による通信は、サーバーとクライアントで構成されます。ファイルの保存と管理を行なうのが FTP サーバーで、利用者はサーバーに FTP クライアントと呼ばれるソフトウェアを使って接続し、ファイルの送受信を行ないます。

FTP クライアントソフトのことを、単に FTP ソフトと言うこともあります。

ここでは FTP クライアントソフトの中でもおすすめの「FFFTP」をインストールする方法を解説します。FFFTP は、曾田純氏作成のフリーソフトで、とても高機能な FTP クライアントです。

FFFTP のダウンロード

FFFTP は、以下のサイトから無料で入手することができます。

<http://www2.biglobe.ne.jp/~sota/ffftp.html>

FFFTP は、Windows 98 / Me / NT / 2000 / XP で動きます。

ここでは、バージョン 1.91 を Windows 98 にインストールしています。

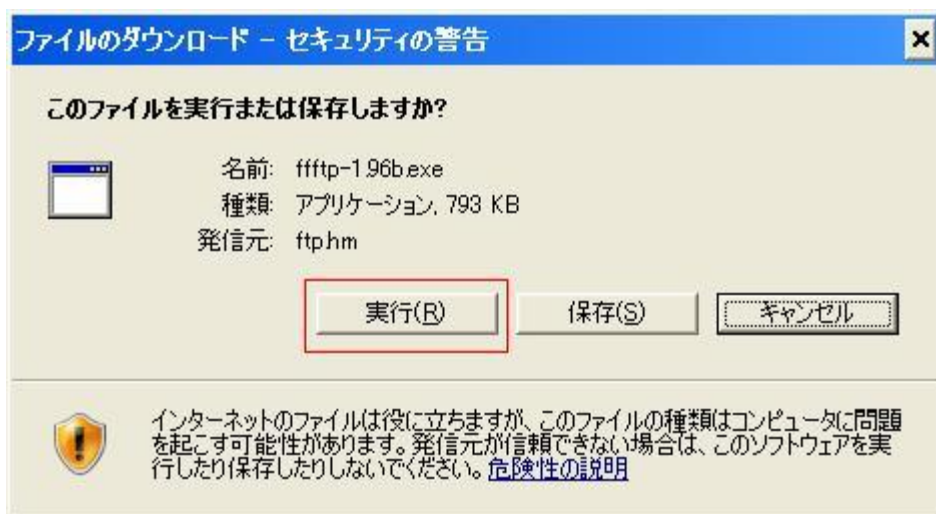
FFFTP のインストール

↓



ダブルクリックしてインストールします。

↓



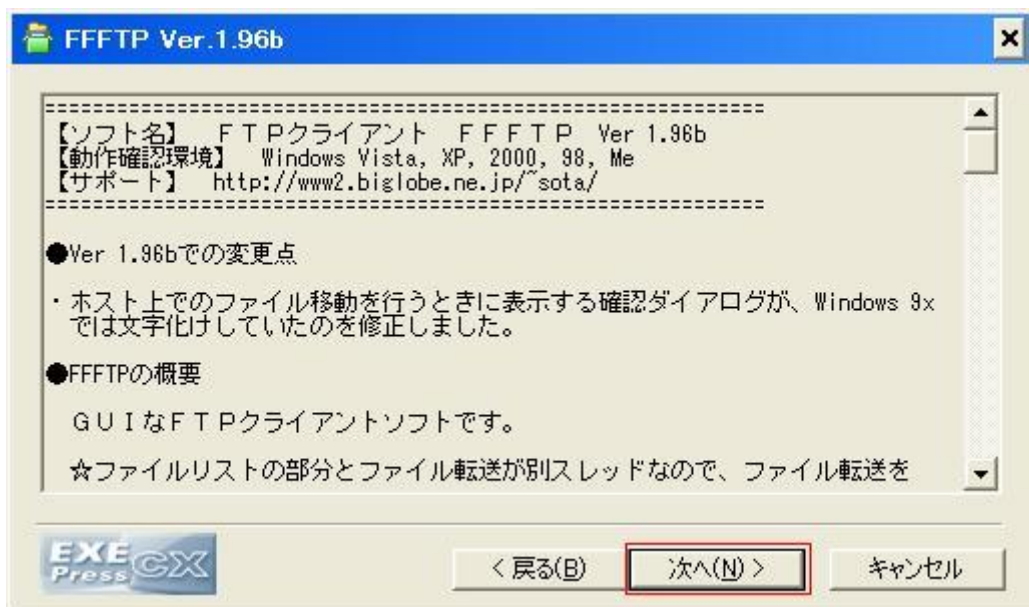
↓



↓



↓



↓



「はい」をクリック





↓



デスクトップに上のショートカットが出来ます。

ココまでで FFFTP のインストールが完了しました。

FFFTP のダウンロード・インストールが終わったら続いて設定します。



デスクトップのアイコンをダブルクリック

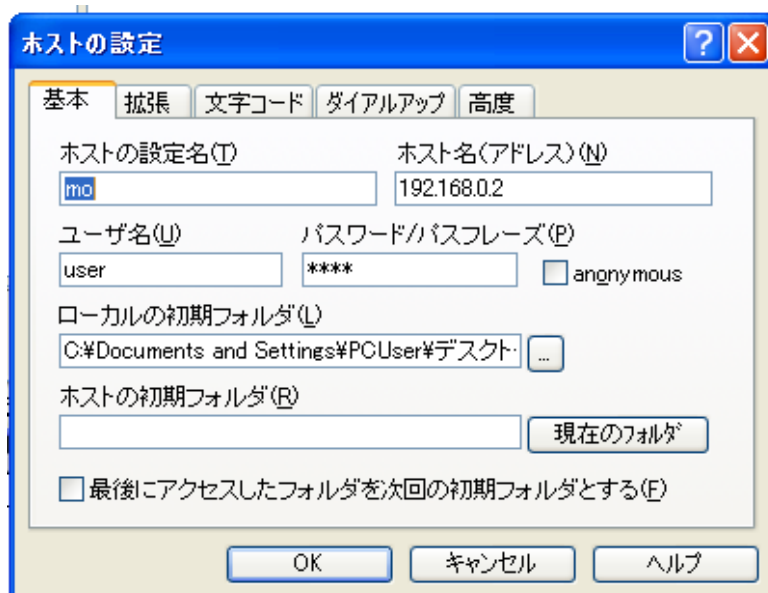
↓



FFFTP を起動した後、「接続(F)」→「ホスト設定(H)」をクリックし
ホスト一覧画面を表示します。

新規追加ボタンをクリックし、サーバマシンの HostName と IP アドレス(コマンドプロンプトを開き、
ipconfig /all コマンドで確認)、FTP サーバに設定したユーザ名とパスワードを入力します。

ローカルの初期フォルダは、**自身の PC デスクトップ上に、ftp_folder という名前のフォルダを
新規作成し、そのパス名を入力します。**



以上です。OK を押し、サーバに接続できるかを確認してください。



接続できると上記のようになります。（※画像は、さくらサーバで、表示内容が異なります）